

大城ひかるのベトナム



通信

-17-

シンチャオ
(Xin chào)
おきなわ



年々増えていく日本語の指南書。一番左は筆者のバイブル（筆者撮影）

「彼を行かせる」と「彼に行かせる」はどっちが正しいですか？」
うう、来た来た。以前もこの質問されたんだけど…何だったっけ…ああ思い出せない。そんな時はこう言うしかありません。「先生の宿題でいい？」

日本語教師も4年目になると、学生からの質問にも大分慣れてきますが、今でも文法に悩むことが少なくありません。新米の頃は「東京に行く」と「東京へ行く」は何が違いますか」「コーヒーを飲みたい」と「コーヒーを飲みたい」は同じですか」と聞かれるたび冷や汗をかいたものですが、幾度も「宿題」で乗り切ってきました。学生の質問には大よそ傾向があることも分かっています。また、日本語学習のためのインターネットサイトも充実してきて、サクサクと答えを見つけられるようになりました。それでも「やられた」と思う質問に出会うことがあります。

悩んで楽しい日本語文法

ある日、いつものようにエンジニアクラスで授業を始めたところ、T君が「先生」と手を挙げました。エンジニアクラスというのは、大学で電気や機械、建設等を専攻した若者で、日本で働く高度人材を育成するクラスです。理系の学生らしく文法もシステマチックに考えるタイプが少なくありません。中でもT君はホーチン市工科大学という優秀な大学を出た学生で、古い表現で恐縮ですが、こちらが「タジタジ」となる質問をする理論派の学生でした。とても好奇心が強く、物事の見方がユニークで、私のお気に入りの学生の一人だったのですが、反面、納得いくまで何度も聞いてくるので、うまくコントロールしないとクラスが彼に乗っ取られてしまう要注意人物でもありました。

彼の質問は「() といけません」の辞書形は「いける」ですか」。全く考えたこともない視点で、うれしくてゾクゾクしました。このように、私は学生から困るぐらゐの質問をされるのが実は大好きなのです。当然ながら、この時も「宿題」として持ち帰りました。

私たち日本語母語話者は意識せず日本語を話します。「〜までに」は締め切りの意味だから、「12時前に」ではなく「12時までに出してください」と言いますし、「〇〇会社で働いています」と「本を読んでいます」の「〜ています」は意味が違うなどと考えて使い分けているわけはありません。しかしT君のような外国人にとって文法の一つに意味がありますから、日本語教師は丁寧に分かりやすく教えられなければなりません。話し方がいちいち気になるのも日本語教師の職業病の一つです。あるとき、私なら「行きます」と言うところを「行くんです」と言う人がいました。「〜んです」は何か主張・強調したりするときに使うので、「この人はなぜ今〜んです」と言ったのか」と、奥にある心情を確認したくなりました。辞書編纂者は日々、新しい言葉を集めるため、家族にも疎まれるという話を聞いたことがあります。私も日本語教師として、文法追及はほごほごにしないと、と自重する日々です。

ご意見・ご質問をお聞かせください。 oshiro@kaizen.edu.vn